

# だより

## ●● 東名古屋病院

第85号

2021年10月発行

### 理念

私たちは、医の倫理を守り、患者さんの気持ちを尊重し、より質の高い医療を提供します。

### 基本方針

- ① 患者さんへの医療内容の説明と患者さんの同意を医療の基本とします。
- ② 地域に密着し、心の触れ合いを大切にした医療を提供します。
- ③ 常に自己研鑽に励み、医療人としての専門的知識・技術の習得に努め、皆様に信頼される安全で最新の医療を提供します。
- ④ 健全な経営を維持して療養環境の整備に努め、安心して快適に療養できる病院を目指します。



表紙の花「ルリマツリ」

## CONTENTS

巻頭言／先の見えないコロナと、社会の分断

地域医療連携室だより／「かかりつけ医」と病診連携について

情報提供／NPPVについて

病気とのつきあい方／たかが頭痛、されど頭痛 ～頭痛概論～

トピックス／七夕会を開催して

「ゆめ水族園」を実施して ～病院が水族館に！～



たかが頭痛、  
されど頭痛



「ゆめ水族園」を  
実施して



独立行政法人 国立病院機構  
**東名古屋病院**  
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION  
HIGASHI NAGOYA NATIONAL HOSPITAL

〒465-8620

名古屋市名東区梅森坂5-101

TEL 052-801-1151 FAX 052-801-1160

ホームページ <https://higashinagoya.hosp.go.jp/>





## 先の見えないコロナと、 社会の分断



統括診療部長 中川 拓

愛知県に緊急事態宣言が出たばかりのタイミングでこの原稿を書いています。この号がでる10月にはコロナはどうなっているのでしょうか。また別の変異株が拡大しているかもしれませんね。人類がはじめて経験する感染症ですから、わからないことが多く未来の予測は難しいです。昨年の最初の段階では、アジアでは欧米よりも感染の拡がりが少なく(ファクターXと呼ばれました)、3密さえ避ければ拡がりを防げると言われていました。しかし、水痘レベルとされるすさまじい感染力をもつデルタ株の流行により、従来では感染しなかったような生活でも感染するようになりました。デルタ株にはファクターXは通用しないようにみえます。

またワクチンの海外での成績はかなり良好で、重症化だけでなく発病・感染も防ぐ効果がみられましたので、一定の割合の国民がワクチン接種すれば、いわゆる集団免疫が得られて、コロナ禍前のような元の生活が戻ってくると期待されました。実際イスラエルやイギリスで劇的な効果をもたらしましたし、日本でも高齢者の感染が激減しました。しかし、イスラエルではマスクもやめてしまっていたのですが、7月頃から感染者数が急増し、さらには死亡者数も増加傾向にあります。デルタ株に対するワクチンの感染予防効果が低いこともありますが、ワクチン接種から時間がたって抗体価が減少して効果が落ちたのではないかということでイスラエルは3回目の接種を開始しています。ただ抗体価が低下したとしても、獲得免疫は抗原を記憶しており感染すれば直ちに二次免疫応答が立ち上がるので、重症化予防効果は残るはずです。まずはできるだけ多くの方に2回接種をすすめるのが先です。

不織布マスクをする(ウレタンマスクや布マスクではだめ)、同居している人以外と一緒に飲食をしない(職場や学校でやむを得ない場合は黙食)、換気が悪くて人が多い場所にいかない、といった対策は少なくともワクチン未接種の方が多く残っている間は続けていかななくてはならず、その後いつまで続けなければならないかわからない、先が見えない状態です。

世界中で日々刻々と状況は変わっていきます。情報収集は大事です。毎日テレビやインターネットでいろいろな情報があふれかえっていますが、怪しいものも多いです。信頼できる情報源としては、厚生労働省のホームページがよいです。ときどきYahoo!ニュースに出る大阪大学の忽那賢志先生の記事はいつも絶妙のタイミングで知りたい情報を的確に伝えて下さっていると思います。

コロナ対策には様々な意見があって社会が分断されているように見えます。誰かを悪者にしたい気持ちはわかりますが、他人がどうしようと関係なく、ひとりひとりが自分と家族を守るために自分ができる感染対策をするしかないと思います。当院もCOVID-19患者の入院診療を行っています。できるだけ患者さんを救えるように引き続き頑張りたいと思います。今後通常の診療に制限が生じるようにならないことを祈っています。



## 地域医療連携室だより

# 「かかりつけ医」と病診連携について

地域医療連携室 副室長(経営企画室長) 湯浅 充信

みなさんは、診療所やクリニックなどの「かかりつけ医」をお持ちですか。

「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」を「かかりつけ医<sup>\*1</sup>」と呼ばれています。「かかりつけ医」は、診療時の病気について、専門的な検査・治療等が必要であると判断した場合、患者さんに、その病気に対応した診療できる入院設備や高度医療機器を備えた病院を紹介します。なお、「かかりつけ医」でなくても、医療機関で、患者さんに専門的な検査・治療が必要であると判断した場合も同様に病院を紹介します。

これら「かかりつけ医」や医療機関が紹介する病院の一つに東名古屋病院(当院)があります。

当院は、地域一般医療と急性期後の亜急性期、回復期、慢性期を担う医療機関として、「かかりつけ医」と相互に連携して、患者さんの症状に応じて必要な医療の提供を行う病診連携に取り組んでいます。現在、病診連携として、各医療機関から400名を超える医師が登録されています。

また、病診連携の一つとして、検査機器の共同利用に取り組んでいます。患者さんを「かかりつけ医」などの医師が診療し、その医師の指示において、当院で検査を行う流れになります。当院では、放射線検査機器にて、CT検査、MRI検査、ラジオアイソトープ検査などの放射線学的検査を行っています。また、画像診断は、放射線科専門医により画像診断報告書が作成され、紹介元である医師(医療機関)へ返信できる体制をとっています。このため、放射線学的検査のみの受付も行っていきます。

さらに、当院は、患者さんが入院された場合、患者さんの退院支援について、「かかりつけ医」とともに地域の多くの在宅医療、在宅介護を担う医療機関や

福祉施設などとも連携しています。これら関係機関と連携しながら、当院の医療ソーシャルワーカーが入院患者さんの退院調整・医療福祉相談を行うことにより、患者さんの住み慣れた地域での療養や生活が継続できるよう支援にあたっています。その後、病状が安定するなど通院治療が可能になれば、再び「かかりつけ医」に通院することができます。

このように当院は、患者さんに対し、「かかりつけ医」とともに病診連携を通じて、必要な医療の提供を行う役割を担っています。

最後に、患者さんにおいては、「かかりつけ医」等から当院へ紹介された際、「かかりつけ医」等が作成した紹介状<sup>\*2</sup>を紹介先である当院へ持参するよう説明などがあります。紹介状には、紹介先病院である当院の担当医師が患者さんの病状を把握できるように、病状の詳細が記載されています。紹介状によって、当院は、患者さんの個別状況を事前に把握した上で、患者さんの病状を詳しく知ることになり、外来診療、入院の受け入れなど、円滑な診療の提供等の一助につながると考えています。

※1: 上手な医療のかかり方に関する情報を随時発信していく厚生労働省の公式ウェブサイト <https://kakarikata.mhlw.go.jp/kakaritsuke/motou.html>

※2: 他の医療機関等の紹介状がない場合、当院(200床以上の病院)への受診には初診料・再診料とは別に厚生労働省が定める特定療養費として、2,200円(税込)が必要になりますので、ご了承ください。



# NPPVについて

臨床工学技士 後藤 考遵

当院では国の定める政策医療として、神経・筋疾患・重症心身障害・結核を中心に医療を提供しています。

臨床工学技士の業務である人工呼吸器を用いた治療を行う患者さんも多数ご入院されます。今回はマスクを介して人工呼吸器を装着するNPPVについて簡単にご紹介していきます。

## どのような時にNPPVを行うか

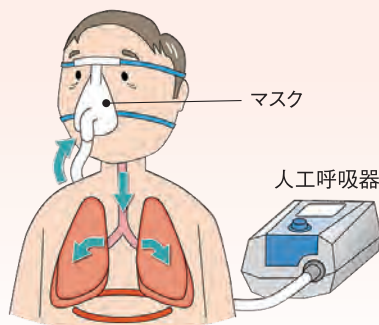
肺の機能は身体に酸素を取り込み、二酸化炭素を体の外に排出することですが、呼吸器疾患や神経・筋疾患では、空気を取り込む量が悪化し二酸化炭素が溜まってくると呼吸困難、意識障害、頭痛などの症状が起こってきます。

NPPVを使用することで換気が改善され二酸化炭素が低下してくると、自覚症状が軽減されます。



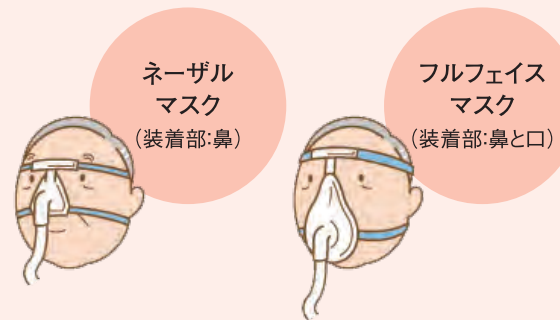
## NPPVとは

Non-invasive Positive Pressure Ventilation (非侵襲的陽圧換気療法) の略になります。口から管を入れて人工呼吸器を装着する気管挿管とは異なり、専用のマスクを顔に密着・固定した状態で行います。マスクの着脱は自由に行えるため休憩し食事や水分を摂取することが可能です。



〈出典:独立行政法人 環境再生保全機構ホームページ〉

マスクは大きく分けて2種類あります。鼻だけを覆うネーザルマスク、もう一つは鼻と口を覆うフルフェイスマスクです。



〈出典:独立行政法人 環境再生保全機構ホームページ〉

ネーザルマスクのほうが不快感は少ないですが、無意識に口が開いてしまう方は人工呼吸器から送気された空気が口から排出されてしまうため換気の補助が不十分になる可能性があります。そのためマスクの選択は非常に重要です。

## 導入に向けて

マスクフィッティングが完了したら、いよいよ練習開始です。圧力をかけて肺を膨らませるため、初めは違和感を感じることがあります。また人工呼吸器からの送気に慣れてもらうため弱い圧力で開始します。慣れてきたら装着時間を徐々に延ばし日中1時間装着出来れば睡眠時に移行します。入院中は定期的に呼吸データを確認しご本人に合った設定に変更します。

その後ご退院に向けてマスクのフィッティング、操作説明・お手入れ方法などをご説明させていただきます。



## たかが頭痛、されど頭痛 ～頭痛概論～



脳神経外科医長 竹内 裕喜

頭痛は誰もが経験したことがあると思いますが、一口に頭痛と言っても、原因や症状は様々です。頭痛は大きく分けて「一次性頭痛」と「二次性頭痛」の二つに分けられます。

### 一次性頭痛 頭痛自体が病気とされるもの

片頭痛／片側性でズキンズキンと拍動性に痛む  
緊張型頭痛／頭が重く締め付けられるように痛む

### 二次性頭痛 その病気によって頭痛が引き起こされる

くも膜下出血／脳動脈瘤が破裂して頭の中に出血をきたす  
→いまだかつて経験したことのない激しい頭痛  
頭部外傷／頭皮や頭蓋骨、脳の損傷により生じる  
脳腫瘍／脳に腫瘍が発生する→起床時の頭痛が多い  
髄膜炎／脳に細菌やウイルスが感染する→頭痛の他に発熱も伴う  
※上記の他にも様々な頭痛があり、症状も状況によって異なることがあります。

一次性頭痛は、頭痛自体が病気とされるもので、具体的には片頭痛や緊張型頭痛がこれにあたります。そして二次性頭痛は、くも膜下出血や頭部外傷、脳腫瘍、髄膜炎のように、その病気によって頭痛が引き起こされる病態を指します。これらの病気は、放置されて進行すれば、頭痛だけでなく命にもかかわる病気であることは皆さんもよくご存知だと思います。ですから、我々医師が頭痛の患者さんを診察する際には、まずは二次性頭痛の可能性がないかを慎重に見極める必要があるのですが、この見極めは皆さんにとっても重要です。つまり、自分や家族、身の回りの人に頭痛が生じた場合、もしそれが二次性頭痛であれば、直ちに病院を受診したほうが良いからです。二次性頭痛を疑うポイントとして

- ①突然の頭痛
- ②今まで経験したことがない、様子の異なる頭痛
- ③頻度と程度が増していく頭痛
- ④頭痛以外に、手足の麻痺、言語障害、発熱、精神症状、意識障害などを伴う

などが挙げられます。これらの経過や症状がないかを診察し、CTやMRI、血液検査、髄液検査などを組み合わせて二次性頭痛を診断します。

さて、患者さんの頭痛が二次性頭痛ではないとなると、あとは一次性頭痛の診断、治療となりますが、一次性頭痛は先ほど挙げたCTやMRI、血液検査、髄液検査でも診断できません。そして、頭痛の発作が起こっていない診察時には身体・神経学的診察でも有用な症状を観察することが難しいため、専ら問診に頼るしかないので。そのため、日頃、頭痛を専門に診ていない一般医が頭痛を正しく診断できるのは約50%とされています。ある調査では、一次性頭痛の患者さんの大半は診察を受けずに市販薬のみを使用していたり、受診しても正確な診断や適切な治療を受けていないという結果が出ました。近年は、頭痛に対する鎮痛剤の服用回数が増えることにより、頭痛がより悪化する「薬物の使用過多による頭痛」が問題となっています。

片頭痛や緊張型頭痛といった一次性頭痛は命にかかわることはありませんが、頭痛のために学校や仕事に行けない、家事ができないなど、その社会的損失は計り知れません。長引く痛みを放置することは、本人はもちろん、その家族や社会にも悪影響を及ぼします。たかが頭痛、されど頭痛。これを機会に、ご自分の頭痛としっかり向き合ってみませんか。

今回は頭痛全般(概論)についてお話しましたが、今後、それぞれの頭痛について詳しくご説明できればと考えています。



# 七夕会を開催して

南1階病棟 看護師長 澤野 かおる

七夕は中国古来に伝わる風習で日本には奈良時代に伝わったとされています。離れ離れに暮らす織姫と彦星が1年に1度、天の川を渡って会うというロマンにあふれた伝説があります。南1階病棟でも、毎年恒例行事として七夕の笹に願い事の短冊をさげ、音楽鑑賞を行う七夕会を行っていましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大がありこの会を中止しました。今年もコロナ禍ではありますが、長引く感染症の猛威により面会禁止のためご家族とも会えない患者さん方のために、何か癒しの時間を作りたいと考え、感染予防に十分配慮し7月7日に七夕会を開催しました。

医師による笛の演奏、検査技師によるハープの演奏、医師・看護師によるハンドベル演奏、そして最後に整形外科の堀江医師によるオペラ合唱です。皆、患者さんに喜んでいただけるよう、忙しい合間を見つけて懸命に練習しました。夏の午後に高らかな笛の音やハープ、ハンドベルの澄み渡る音色、心を揺さぶられる合唱など、普段病室の天井とにらめっこの寝たきりの患者さんも車いすで参加され、とても穏やかな表情で聞き入っていらっしまったのが印象的でした。参加された患者さん方は音楽のリズムに合わせて体を動かしたり、いつもと違うニコニコ笑顔で鑑賞しておられました。

まだまだコロナ禍は終息の目途が立たず、制限された生活が続きますがこれからも患者さんの気持ちに寄り添い穏やかな療養生活を送っていただけるようスタッフ一同今後も努力していきたいと思っております。



# 「ゆめ水族園」を実施して ～病院が水族館に!～

療育指導室 主任児童指導員 番 里絵

令和3年7月28日～8月17日、(株)セイコーエプソン様の「ゆめ水族園」のファンタスカー(プロジェクターと音楽プレーヤーを搭載したカート)を2台、貸出していただきました。「ゆめ水族園」とは、映像ならではのワクワクする楽しい空間を創り出し、外部環境に接する機会の少ない方々に豊かな感覚体験を届ける(株)セイコーエプソン様の社会貢献活動です。プロジェクターを使った映像表現により、まるで目の前に魚やクラゲが泳いでいるかのような、不思議な水の中の世界を体験することができます。

当初、北1階病棟のみの投影を考えていましたが、より多くの患者様に楽しんでいただきたいと考え、ぬくもりサポート館2階廊下や南1階病棟、西3階病棟でも投影を行いました。2台のファンタスカーはそれぞれ「静かな落ち着いた空間」、「ちょっとアクティブな空間」、2種類の映像と音楽を楽しめるようになっていました。対象者や環境によって2台のファンタスカーを使い分けて投影しました。

2階廊下での投影は計12回行いました。白い壁や天井に鮮やかな魚やくらげ、花が映し出され、リハビリテーションセンターに向かう患者様や病棟を行き来する職員にも多く見ていただけました。投影時間は1時間でしたが、その間ずっとご覧になっていらっしゃる方や投影を見ながらリハビリテーションを受けていらっしゃる方もいらっしゃいました。「涼しく感じるね」、「水族館の水槽の下を通っているみたい」、「イカの刺身食べたくなった」等の感想をいただきました。

北1階病棟では、広い療育訓練室に天井から布を吊り下げ投影したり、床にマットを敷いて寝転がって見たり、様々な方法で投影を楽しみました。じっと映像を見つめ、映像に手を伸ばす等、普段とは違う環境を皆さん楽しまれている様子でした。

南1階病棟、西3階病棟でも、「子ども達にも見せてあげたい」、「また水族館に行ける日が来るといいな」等の感想をいただき、皆さんに喜んでいただけたのがわかり、私も嬉しく感じました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、従来通りの外出や行事が難しくなっています。患者様の生活空間はより限られた物になり、ストレスを感じていらっしゃる方も

多いと思います。感染対策には十分に留意しつつ、今後も皆さんが楽しめるような活動を企画していきたいと思っております。



# 外来案内

診療受付時間／午前8時30分～午前11時まで(緊急の場合はこの限りではありません)

診療開始時間／午前9時～

休診日／土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)

初診時の特別料金／他の医療機関等からの紹介ではなく、直接当院に来院された患者さまは、初診にかかる費用として、2,200円(税込)をいただいております。ご了承ください。  
ただし、緊急その他やむを得ない事情により他の医療機関からの紹介によらず来院された場合にあってはこの限りではありません。

## 外来診察担当医表(令和3年10月1日現在)

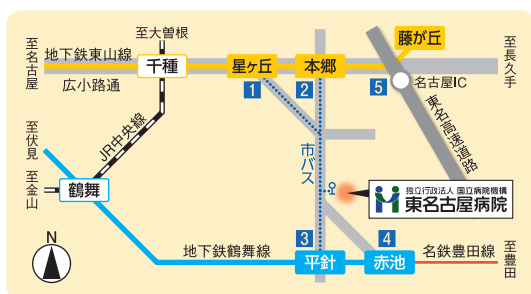
再来診は全科予約制となります。

| 診療科          | 月                | 火                                | 水                                | 木     | 金                                   |
|--------------|------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------|-------------------------------------|
| 呼吸器内科        | 初診<br>佐野 将宏      | 垂水 修                             | 林 悠太                             | 中川 拓  | 山田 憲隆                               |
|              | 垂水 修             |                                  | 佐野 将宏                            |       | 林 悠太                                |
|              | 中川 拓             | 山田 憲隆                            | 中川 拓/小川 賢二<br>(第1・3週) (第2・4・5週)  | 小川 賢二 |                                     |
| 呼吸器感染症専門外来   |                  | 小川 賢二<br>(第1・3週 13:30~15:30)     |                                  |       |                                     |
| 循環器内科        | 尾崎 令奈            |                                  | 水谷 崇                             |       |                                     |
| 脳神経内科        | 初診<br>犬飼 晃       | 横川 ゆき/佐藤 実咲<br>(第1・3・5週) (第2・4週) | 犬飼 晃                             | 饗場 郁子 | 齋藤由扶子/橋本 里奈<br>(第1・3週) (第2・4・5週)    |
|              | 饗場 郁子            | 片山 泰司                            | 榊原 聡子/片山 泰司<br>(第1・3・5週) (第2・4週) | 齋藤由扶子 | 榊原 聡子                               |
|              | 横川 ゆき            |                                  | 佐藤 実咲                            | 橋本 里奈 |                                     |
|              |                  | 奥田 聡                             |                                  | 奥田 聡  |                                     |
| 消化器内科        | 横井 美咲            | 高橋 宏尚                            | 高橋 宏尚/小林 慶子<br>(交替制)             | 小林 慶子 | 高橋 宏尚/小林 慶子<br>(交替制)                |
| 呼吸器外科        |                  |                                  | 山田 勝雄                            |       |                                     |
| 外科・消化器外科     | 渡邊 正範<br>(第2・4週) | 岩田 直樹                            | 渡邊 正範<br>(第1・3・5週)               | 永田 博  | 渡邊 正範                               |
| 乳腺外科         | 林 幸枝             | 遠藤登喜子                            | 小川 弘俊<br>(午後のみ)                  |       | 遠藤登喜子/森田 孝子                         |
| 乳腺・内分泌外科     |                  |                                  |                                  | 今井 常夫 |                                     |
| 整形外科         | 金子真理子            | 堀江裕美子                            | 小杉山裕巨                            | 金子真理子 | 堀江裕美子                               |
| リウマチ科        |                  |                                  | 小杉山裕巨                            |       |                                     |
| 脳神経外科        |                  |                                  |                                  |       | 竹内 裕喜                               |
| 泌尿器科         | 岡村 菊夫            |                                  | 青田 泰博                            |       | 岡村 菊夫<br>(午前 通常診療・13:30~15:30 女性外来) |
| 精神科          |                  |                                  |                                  |       | 亀位 翼                                |
| 総合内科/膠原病内科   | 鈴木 道太            | 大島加帆里<br>(第1・3・5週 9:30~)         | 鈴木 道太                            |       |                                     |
| 血液・腫瘍内科(予約制) | 清水 一之            |                                  | 清水 一之                            |       | 神谷 悦功                               |
| 内分泌内科        |                  |                                  |                                  |       | 深見亜也子                               |
| 小児科(予約制)     | 濱口 典子            | 濱口 典子                            | 濱口 典子                            | 濱口 典子 | 濱口 典子                               |
| 皮膚科          | 加藤 愛             | 加藤 愛                             | 加藤 愛                             |       | 加藤 愛                                |
| 歯科口腔外科       | 奥村 秀則            | 奥村 秀則                            | 奥村 秀則                            | 奥村 秀則 | 奥村 秀則                               |
| 耳鼻いんこう科※1    |                  | 伊藤 陽子                            | 伊藤 陽子                            | 伊藤 陽子 |                                     |

※1:補聴器外来(予約制)／第1・3火曜、木曜 14:00~15:30

- 時間外・休日の救急診療については、お電話にてご相談ください。(052-801-1151)
- セカンドオピニオン外来(予約制)を行っていますのでご利用ください。
- 火・水・木曜午後に一般健診を行っています。(健診受付は14:00~15:00です。)

## 病院へのアクセス



- 1** 地下鉄東山線 星ヶ丘駅からお越しの場合
  - 市バス③番のりば 東名古屋病院行きまたは梅森荘行き約15~25分…東名古屋病院にて下車
  - 星ヶ丘よりタクシーにて約15分
- 2** 地下鉄東山線 本郷駅からお越しの場合
  - 市バス①番のりば 地下鉄平針駅行き20~30分…東名古屋病院にて下車
- 3** 地下鉄鶴舞線 平針駅からお越しの場合
  - 市バス①番のりば 本郷行き約10分…東名古屋病院にて下車
  - タクシーにて約8分
- 4** 名鉄豊田線・地下鉄鶴舞線 赤池駅からお越しの場合
  - タクシーにて約8分
- 5** 東名高速道路 名古屋ICより車で約20分